

令和 7 年度事業計画

1 長岡市の令和 7 年度当初予算

令和 7 年度長岡市当初予算は、『都市としての拠点性を高め、選ばれるまち長岡の礎を創る予算』と位置付け、一般会計の予算規模は、1,452 億 6,500 万円（前年度比 8.4 % 増）、普通建設事業費は、243 億 9,598 万円（前年度比 8.4 億 2,114 万円、52.7 % 大幅増）、うち単独事業費は、108 億 1,235 万円（前年度比 30.2 % 大幅増）となった。

<内部資料参照>

2 長岡市に対する要望活動（重点項目）

会員各位の質問・意見を踏まえ、重点的に長岡市へ積極的な要望活動を実施していく。

- (1) 地域事務所及び包括協定等については地域特性を生かした改善
 - (2) 試行的に導入された『変動型（平均型）最低制限価格制度』を新潟県に準じた入札制度への早期変更
 - (3) 長岡市発注公共工事に対する改善
 - ① 令和 4 年度から継続した「書類の簡素化・電子化の推進」
 - ② 他自治体と同様な「優良表彰制度」の早期導入
 - ③ 当協会・会員の優位性の確立
 - (4) 長岡市入札制度の諸条件の改善
- なお、改善の具体的な項目については、総務・技術委員会等で検討する。また、長岡市議会に対しても、同様な要望活動を行う。

3 予算運営

収入では、会費については、令和 7 年度から会費基準表の正規額を適用し、納入する。

支出では、これまでの事業内容を精査して、限られた予算を効率的に執行するとともに経費節減に努める。

4 協会事業等の取組み

協会は、地域の経済と雇用を支え、災害時の応急復旧や除雪業務を通して地域の安全と安心を担い、地域の活性化に積極的に取り組んでいる。

さらに、若者の入職促進や定着といった担い手の確保育成対策をはじめ、週休二日制の実現、長時間労働のは正、現場で働く技術者や技能者の待遇を改善する働き方改革など、関係する諸団体と連携を図りながら対策を進める。

(1) 災害時の応急対応及び復旧支援事業

長岡市と締結しているいわゆる「災害応援協定」により、災害応急要請があった場合は「災害時緊急連絡表」により地域の担当業者が優先的に迅速に対応する。

(2) 環境美化運動

各地域で開催される「まつり」の清掃活動等に地域の会員が参加する。

- ① 長岡地域は、「長岡まつり大花火大会」の花火会場早朝清掃
- ② 小国地域は、「桜まつり」の会場設営及び清掃
- ③ 栃尾地域は、「とちお遊雪まつり」の会場清掃

(3) 建設業の施策の普及及び調査研究

- ① 工事安全パトロール（土木・建築工事）については、建設業労働災害防止協会新潟県支部長岡分会と連携する。
- ② 長岡市公共工事に関する情報交換会、研修旅行を実施する。

(4) 創立80周年記念事業について

令和8年度は、当協会の創立80年目を迎えるにあたり、その記念事業等の準備事務を開始する。

5 研修事業

入札と契約制度の改正や工事施工上の課題、建設業界の新しい動きに対応するために研修や研究事業を積極的に進め、会員の資質向上を図る。

また、先進地の優れた公共施設や公共工事現場等の視察研修を行い、会員の技術向上に努める。

6 広報・情報提供

(1) 広報誌の発行

会員に対しては、長岡市等からの制度改正の通知やお知らせなどを随時提供するとともに、協会の活動状況、経営状況を周知するため、広報誌「ながおか建設だより」を充実し、1月に発行する。

(2) ホームページの充実

協会の活動状況や経営状況等、必要な情報を広く伝えるためホームページの充実を図る。